

# 河田正一 市政ニュース

御津

建部

中山間地の声

## しっかり届け 実現に奮闘

2期8年で **129** 項目を質問



御津地域で運行しているデマンドタクシー

### 生活交通の充実 は みんなの願い

御津・建部の住民にとって、バスなど公共交通の整備は切実な願いです。合併した当初には、福渡や金川から国立病院までのバスはなく、通院や見舞など大変な苦労がありました。

河田正一市議は、当局に住民の声を届け、議会でも繰り返し取り上げてきました。その中で、2012年には、福渡から国立病院までの路線バス運行を実現。また、「空

気に乗せて走るのでは効率が悪い」と、コミュニティバスをデマンドにし、財政負担増なしで拡充することに努めました。

今後も、コミュニティバスの運行エリア拡大と増便・毎日運行を目指します。また、デマンドタクシーの併用により、効率的で使いやすい地域交通体系づくりに取り組めます。

### 4/2(木)オープン！ たけべ八幡温泉



待望のサンタケベが新装オープンします。

河田正一市議は、経済委員長の際に、河川改修計画に含まれている温泉会館と老朽化している旧サンタケベを一体化し、良い施設をつくることを強く求め、計画が具体化しました。

建部の観光の目玉として、多くのお客が集まり、周辺にも来客が増えるようにしっかり運営をしていかなければなりません。

県・市議 力を合わせ  
引き続きがんばります



森脇ひさき県議



河田正一市議

## 「診療科目ふやして」

眼科、皮膚科、リハ科も

国立病院機構への移行により、金川病院には内科と外科しか残りませんでした。

河田正一市議は、「診療科目を増やしてほしい」という住民の声を届け、粘り強く交渉して、2013年8月に眼科、10月に皮膚科、12月にリハビリテーション科が、それぞれ増えました。

## 中山間地の訪問事業

### 交通費助成を検討

訪問介護や訪問看護の職員の移動時間や交通費について、中山間地でも加算は無く、介護報酬の引き下げもあって、サービス事業者の経営は、一段と苦しくなっています。県には、市町村が助成制度をつくれれば補助する仕組みが、共産党県議の提案でできています。

河田正一市議は、「県の仕組みを活用して助成を」と迫りました。市は現在、制度設計に向けて検討中です。



6人体制に拡充した御津出張所

## 御津消防出張所の夜間体制

### 6人体制に拡充

夜間が4人体制なため、救急車と消防車が同時出動できなかった御津出張所でした。

河田正一市議が、出動実態などを示しながら4人体制の早期解消を繰り返し求め、2014年暮れから6人体制になりました。

## 健康みつ21公園 建設中

### 硬式野球も可能に

御津伊田に建設中の公園は、合併時の約束の一つです。河田市議は、繰り返し議会を取り上げ、早期実現を求めてきました。

## 「産廃なら河田」

河田正一市議は、御津虎倉産廃問題では、同じ業者が経営する箕島処分場の容量超過を明らかにし、業者の不適格性を鋭く追及。建設「不許可」直前まで追い詰めました。

また、御津河内産廃計画を暴露し、地元の人たちと共に、岡山市の産廃課も巻き込み勉強会を開くなどして、盛土のり面の勾配修正などさせました。

毎議会でも産廃問題を質問し、県外からも講師依頼があるなど、「産廃問題は河田正一」と言われるようになっていきます。



河内産廃反対デモ (12.5.15)

## 広域連携で

### 地域を元気に

河田市議は、御津町職員時代から、御津・建部の広域連携に取り組んできました。中山間広域連携事業を御津と建部で取り組むことを提唱して実行し、市道御津建部線の計画にも携わりました。

熊見トンネルの完成で、御津と建部はとて近くなりました。



地元を支えられて  
2期8年  
これからも  
がんばります！